



現場から（最近のニュースから）

## 読書の秋



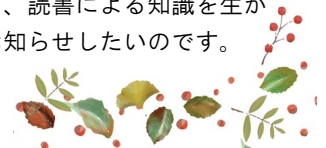
10月27日～11月9日は読書週間です。読書週間は、1947年に日本で始まった習慣だそうです。1945年の終戦から2年後の戦争の傷跡が各地に残っていた当時、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意をもとに開催されたということです。（引用：公益社団法人 読書推進運動協議会「読書週間」より）

読書の効果については、いろいろあるのですが、次のようにまとめてある記事がありました。（3月12日 Domani<読書にはどんな効果がある？ 普段本を読まない人も読みたくなるメリット>より）

### 読書がもたらす効果

1. 語彙力、文章力が養われる  
語彙が増え、文章力が磨かれると、仕事の企画や資料で評価が高まる
2. 教養や知識が身に付く  
世界が広がる
3. 仕事に役立つ知恵を得られる  
今必要なノウハウも教えてくれるので、体験の質が深まる
4. 想像力が豊かになる  
他人に共感することができることにつながり、精神的な成長も期待できる
5. コミュニケーション能力が高まる  
自分の感じていること、考えをぴったりのことばで表現できたり、会話の引き出しが増える
6. ストレス解消になる  
リラックスした状態を読書は作り出す
7. 移動時間を有意義に過ごせる

独学で大量の読書をして、さまざまな知識を得て本を執筆し、相談にも乗っている読書猿という作家がおられます。「勉強が続かない」「やる気が出ない」「目標の立て方がわからない」「受験に受かりたい」「英語を学び直したい」……などなど、「具体的な悩み」に、読書の知識を生かして答えておられます。それほどまで本を読まなくても、本の世界に没入することによって、現実のいやなことを忘れるストレス解消法としても良いことも多いでしょう。日本人が読書によって平和な文化国家を作ってきたことも確かです。しかし、どんなに読書をして、一時的な悩みを解消できても、平和な文化国家になっても、まったく変わらずに、人はどうしようもない苦しみや悩み、悲しみの問題にぶつかります。それが人生だという前に、読書によっては解決できない、ほんとうの問題があることを知ってほしいのです。そのほんとうの問題を解決してこそ、まことの「平和」が訪れ、まことの「文化」を作ることができ、読書によって得る知識も活用していくことができます。あなたの人生の根底にある問題、それにまず目を向けて、それを解決してから、読書による知識を生かしていきませんか。すべての人の根底にある問題と解決、それについてお知らせしたいのです。



## 救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください